

JASO推奨品・施工法指定 第5号 「耐・スリ・ゴン」のご紹介

技術情報委員会 坪内 真紀

1. 第5号JASO推奨品・施工法について

技術情報委員会は、JASO推奨品・施工法制度の第5号として、リノ・ハピア株式会社が開発した「耐・スリ・ゴン」について審査し、推奨施工法に指定し、5月19日の理事会にて承認されました。

2. 開発の経緯

耐・スリ・ゴンは耐震スリットカッター搭載 Gondola です。スリットカッターは40kgと重く、「Gondolaではスリット工事はできない」という意見が多かった中、足場設置がネックとなるような現場で Gondolaでの施工ができるように開発が進められました。廊下のない階段室型の建物でのスリット施工はもちろん、バルコニー側の工事でも室内に入室せず施工でき、足場設置よりは費用が安くなるケースがあります。足場を組むのが難しい立地の建物や、高層階にだけスリットを入れたい場合などに適している施工方法です。

現在、Gondolaは1基のみですが、リースも行っています。

3. 耐・スリ・ゴンの特徴

Gondolaはスペースが3m×1m、3点吊りで吸着装置を搭載しており反力を伴う作業も可能です。カッターは一般的な湿式ウォールソーではなく、乾式変芯フランジウォールソーを使用していて幅は7cmまで対応できます。乾式で水が不要なので、乾燥時間が不要であり、すぐに次の工程に移れます（ただし切断時間と刃のコストは湿式よりかかるとのこと）。

Gondolaには養生フラップを設置し、カッターカバーによる粉塵回収システムを装備しています。

推奨工法の指定理由

- ・耐震スリットを施工する時に1階から建て込む枠組み足場を使わず、屋上から吊る Gondola を足場とするので、高層部分などの施工に適している。また養生シートなどを使用しなくてもよく、室内が暗くならず施工できる。
- ・「公共建築改修工事標準仕様書」の部分スリット工事に適用できる、一般財団法人ベターリビングの評定（CBL M1002-13号）を取得している。



(上段左) Gondola足場
 (上段中) 養生フラップ
 (上段右) ウォールソーカッター
 (下段) Gondola内部